令　和　6　年　1　2　月　1　6　日
中部地方整備局　木曽川上流河川事務所
中部地方整備局　木曽川ダム統合管理事務所
岐　　阜　　県
独立行政法人水資源機構　徳山ダム管理所

令和6年台風第10号における
徳山ダム・横山ダムの連携した防災操作、河川改修の効果

令和6年8月に上陸した台風第10号の影響により、岐阜県西濃地域は激しい降雨に見舞われましたが、徳山ダム・横山ダムの連携した防災操作の実施により、揖斐川の揖斐川町岡島地点（河口から57.3km）の水位は約1.1mの低下、大垣市万石地点（河口から40.6km）の水位は、約0.5m低下したものと試算しました。

また、徳山ダム・横山ダムの連携した防災操作の実施により、支川杭瀬川の塩田橋で約0.08mの水位低下、支川大谷川の大谷川洗堰で約0.07mの水位低下、支川泥川の泥川水門下流で約0.07mの水位低下効果があり、さらに、泥川水門の整備等の河川改修と併せ泥川水門上流では約0.21mの水位低下効果があったものと試算しました。

徳山ダム・横山ダムの連携した防災操作の実施や支川杭瀬川、相川の河川改修、大谷川の洗堰嵩上げ、泥川水門の整備により、大谷川流域では越水による浸水被害を回避でき、泥川流域では浸水範囲を軽減することができました。

＜参　考＞

徳山ダム	流入量　最大毎秒約490m^3	流入量全量貯留（最大毎秒約490m^{3}貯留）
横山ダム	流入量　最大毎秒約450m^3	最大毎秒約170m^{3}貯留
大谷川洗堰	越流開始水位　T.P.+8.85 m	今回実績水位T.P.+8.56m※

※新荒崎機場（岐阜県大垣市荒崎町）の観測水位

１．資料
別紙のとおり

２．解禁
指定なし

３．配布先
岐阜県政記者クラブ

４．問合せ先

国土交通省中部地方整備局　木曽川上流河川事務所
副所長　　高橋　伸次
流域治水課長　　小林　彩佳
ＴＥＬ：０５８－２５１－１３２１
国土交通省中部地方整備局　木曽川水系ダム統合管理事務所
管理課長　　松尾　永久
ＴＥＬ：０５８－２５５－２５６２
岐阜県県土整備部河川課
技術管理監　　牛丸　健
ＴＥＬ：０５８－２７２－８５８５
独立行政法人水資源機構　徳山ダム管理所
管理課長　　冨田　尚樹
ＴＥＬ：０５８５－５２－２９１０

令和6年台風第10号における揖斐川本川の水位低下効果
－徳山ダム・横山ダムの効果－

別紙

・台風第10号による大雨に伴い、徳山ダム・横山ダムでは連携した防災操作を実施しており、徳山ダムでは最大流入量約488m³/sすべてを調節（放流量0m³/s ）、横山ダムでは最大流入量約445m³/sを約168m³/s調節し、2ダムで約1,140万m³を貯留しました。（バンテリンドームナゴヤ約6.7杯分）
・２ダムがない場合と比較して、揖斐川の揖斐川町岡島地点（河口から57.3km）では約1.1mの水位低下効果、大垣市万石地点（河口から40.6km）では約0.5mの水位低下効果があったものと推定されます。これにより岡島地点で水防団が河川の巡視及び状況に応じて水防対策を行う水位である出動水位の超過を回避しました。

※バンテリンドームナゴヤ1杯：約170万m³

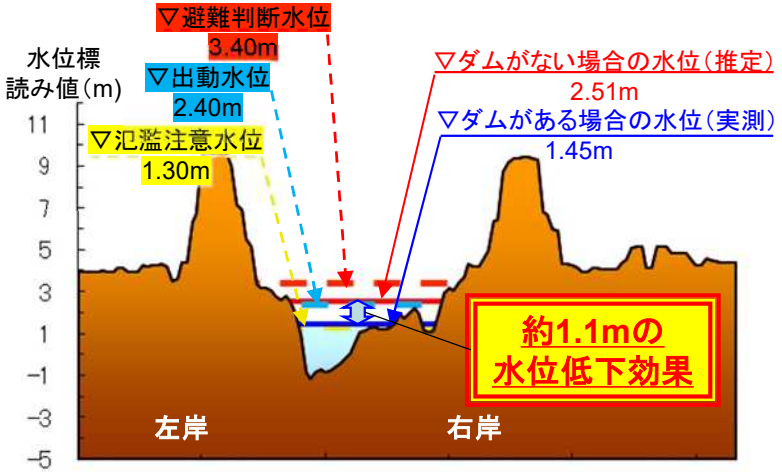
【位置図】

【万石地点（河口から40.6km）】

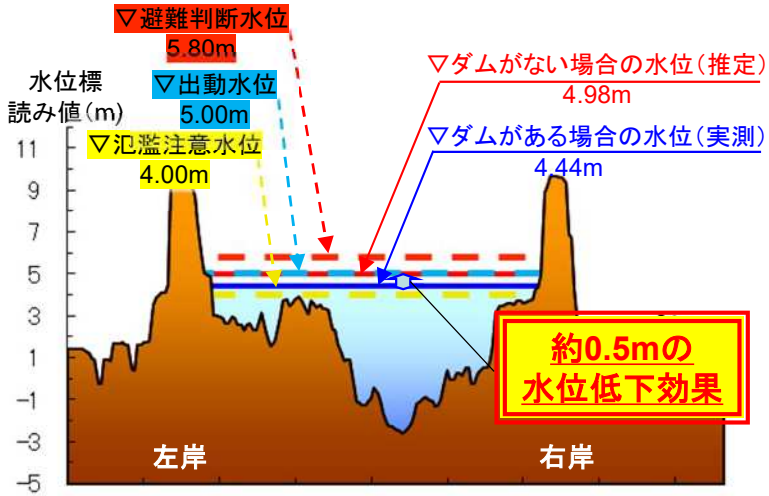
8月31日17時30分頃撮影

【水位低下量】

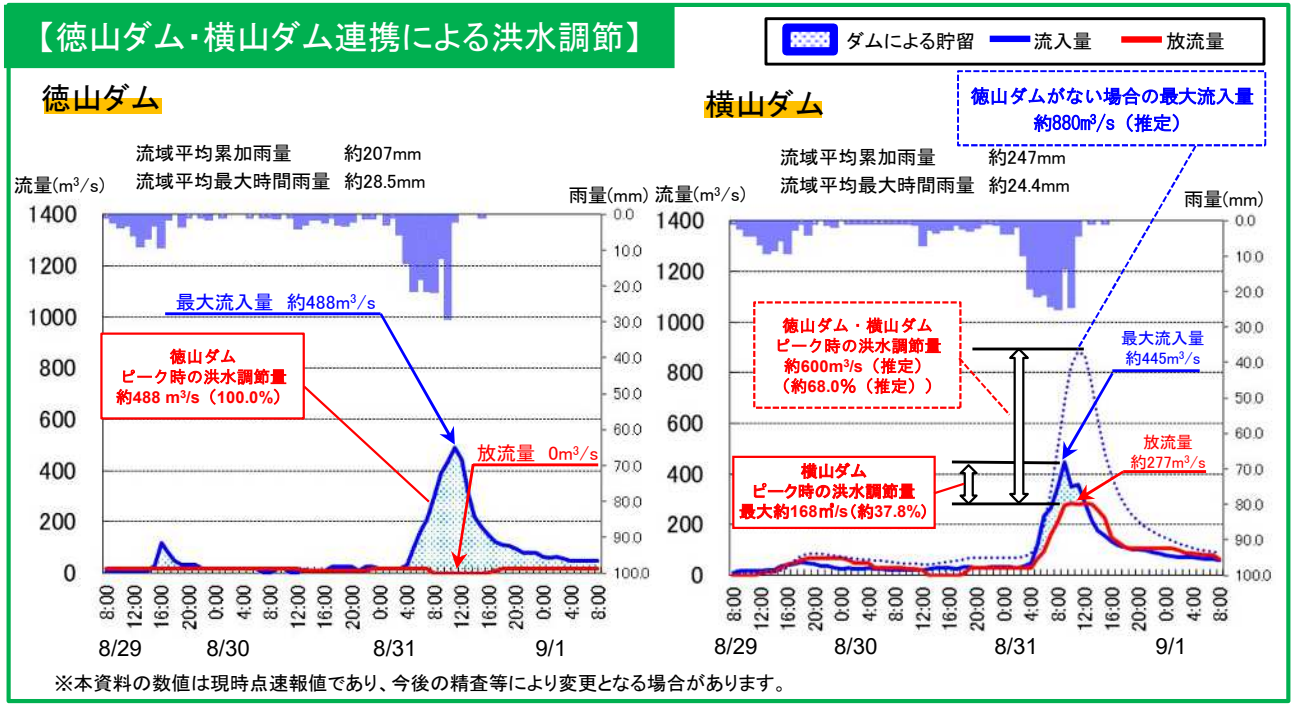
岡島地点



万石地点



【徳山ダム・横山ダム連携による洪水調節】

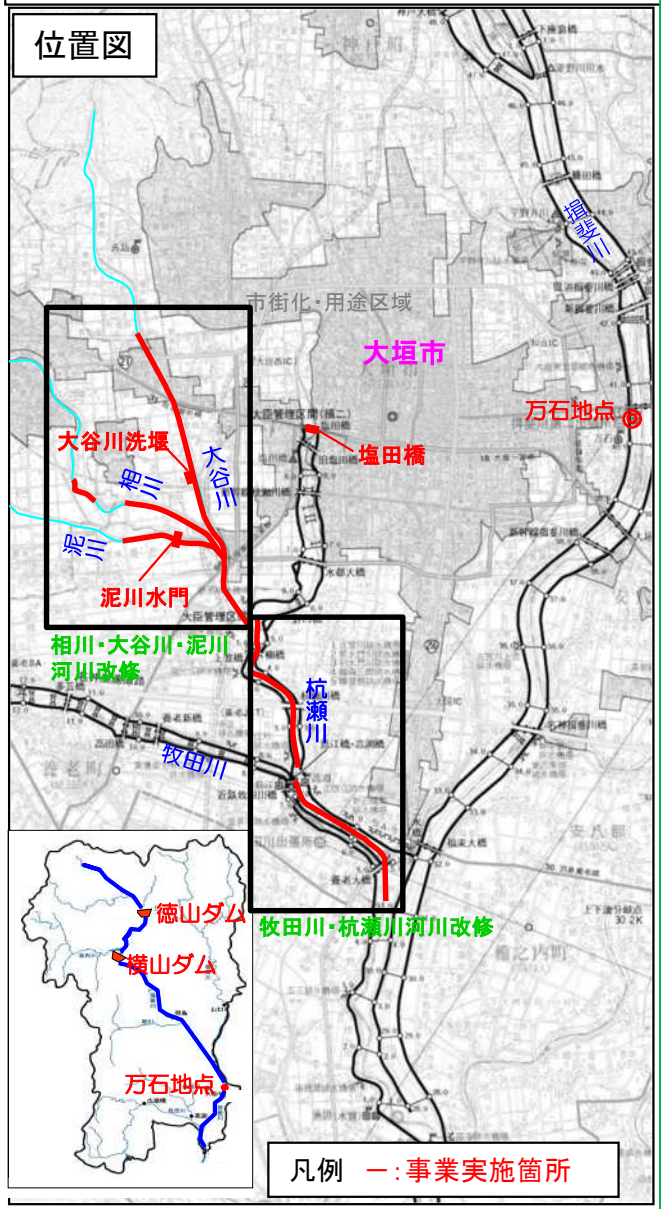


※本資料の数値は現時点速報値であり、今後の精査等により変更となる場合があります。

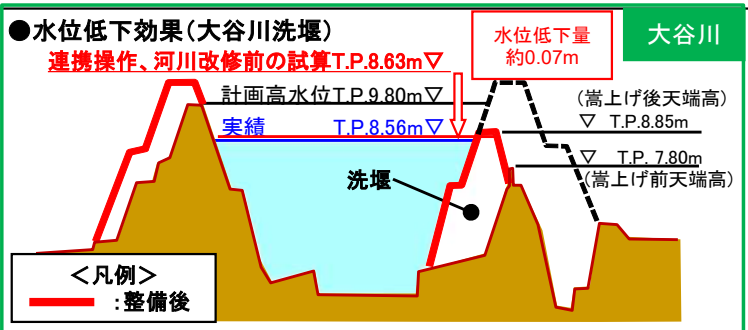
令和6年台風第10号における揖斐川支川大谷川・泥川の治水効果
ー徳山ダム・横山ダムの連携した防災操作、河川改修ー

・令和6年台風第10号では、徳山ダム・横山ダムの連携した防災操作の実施により、支川杭瀬川の塩田橋で約0.08mの水位低下、支川大谷川の大谷川洗堰で 約0.07mの水位低下、支川泥川の泥川水門下流で約0.07mの水位低下効果があり、さらに、泥川水門の整備等の河川改修と併せ泥川水門上流では約0.21mの水位低下効果があったものと試算しました。
・仮に、ダムの防災操作の実施や泥川水門の整備、大谷川洗堰の嵩上げができていなかった場合は、泥川、大谷川においてさらに長い時間浸水しており、かつ大谷川流域では約290戸の被害が生じていたと推定されます。

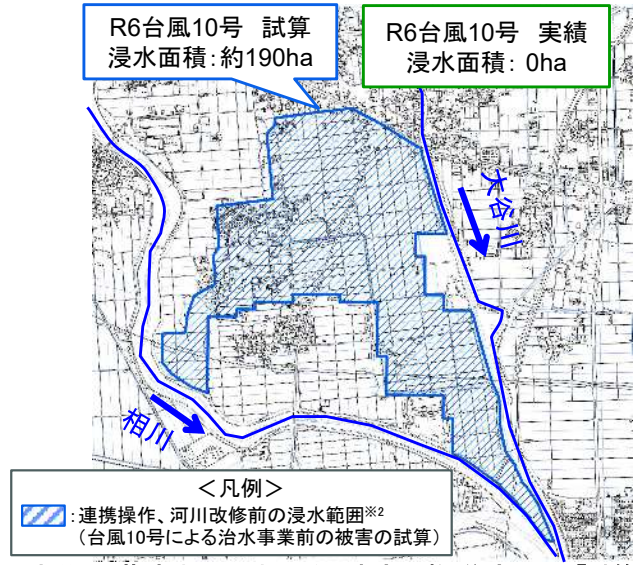
位置図



●水位低下効果（大谷川洗堰）　大谷川

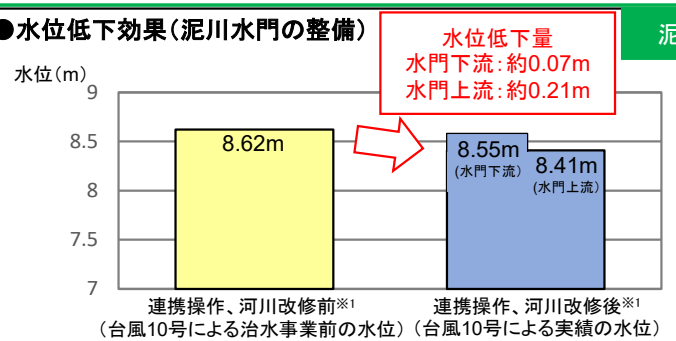


●大谷川（荒崎地区）における外水氾濫による浸水実績と仮に整備がされていなかった場合に想定される浸水範囲

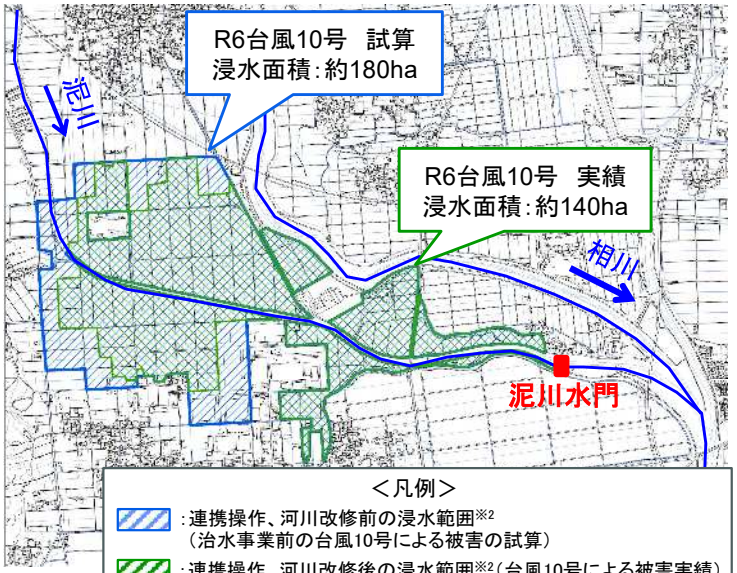


●大谷川（荒崎地区）における浸水家屋数（住家のみ）【試算】

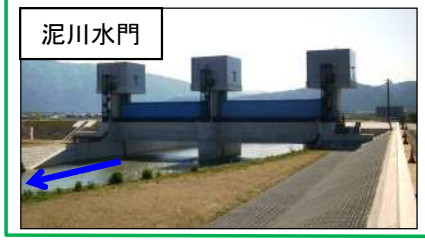
●水位低下効果（泥川水門の整備）　泥川



●泥川における外水氾濫による浸水実績と仮に整備がされていなかった場合に想定される浸水範囲



泥川水門



※1　徳山ダム建設に伴う徳山ダム・横山ダムの治水機能向上（連携操作）および支川改修の実施前後を想定したものです
※2　浸水家屋数は、洗堰については新荒崎機場地点の水位が、泥川については泥川水門地点の水位が、そのままの高さで氾濫域に浸水すると仮定して算出したものです

揖斐川支川における主な治水事業

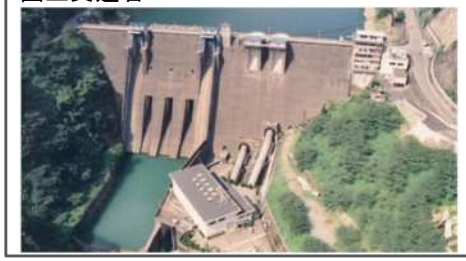
参　考

揖斐川支川の相川、大谷川、泥川等は、勾配が非常に緩く、合流先の揖斐川本川や杭瀬川の水位に大きく影響を受けます。そのため、これらの支川の洪水を安全に流下させるために、次の河川事業を行ってきました。

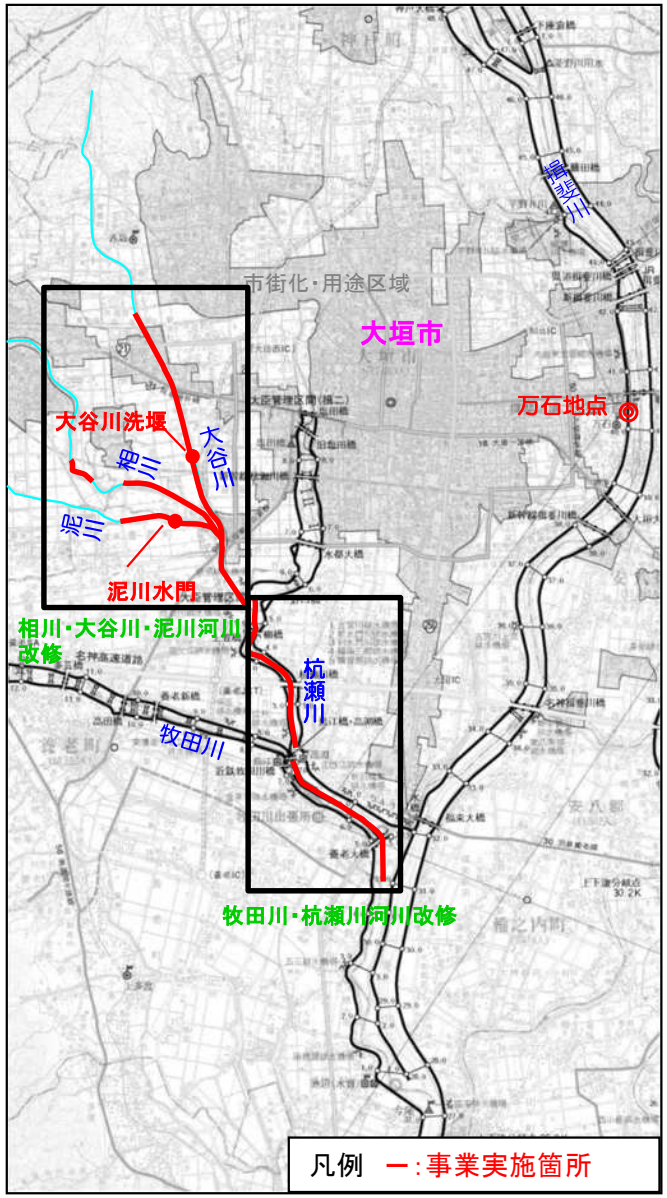
・揖斐川本川の水位低下・・・徳山ダムの建設に伴う徳山ダム・横山ダムの治水機能の向上
・杭瀬川の水位低下・・・牧田川・杭瀬川の大幅な拡幅
・相川・大谷川・泥川の改修・・・築堤、泥川水門の整備、大谷川洗堰嵩上げ

位置図

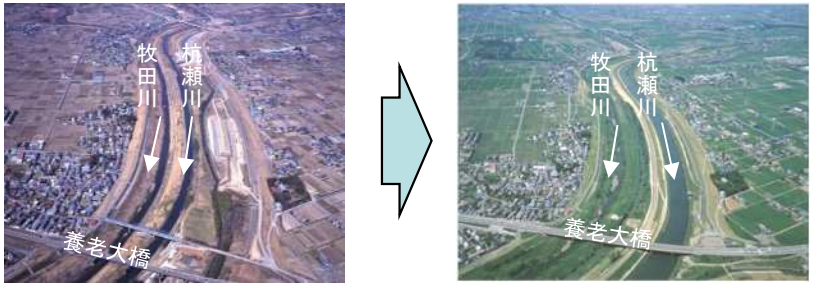
横山ダム（再開発）（平成23年完成）
国土交通省



徳山ダム（平成20年完成）水資源機構



牧田川・杭瀬川河川改修（平成19年概成（相川合流点下流））
国土交通省



泥川水門（平成23年完成）岐阜県

大谷川洗堰嵩上げ（1.05m）
（平成19年完成）岐阜県

相川・大谷川・泥川河川改修（実施中）岐阜県
※平成19年完成（床上浸水対策緊急事業）